★WP(ホワイトニングプラン)　手順★

※　院長が、ホワイトニングの詳細を Kr.にお話いたします。

(1) 通常うがい。　(紙コップ+薬液)
(2) 口腔内撮影。　(カメラ)
(3) 歯牙色(シェード)測定　(シェード測定器)
(4) ポリリン酸うがい(ポリリン酸+グリセリン入り)30 秒。　(紙コップ内)
(5) エアーフロー上下顎クリーニング、うがい。　(エアーフロー)

(6) 薬剤にて漂白
① NON フッ素薬剤にて歯牙研磨、うがい。　(NON フッ素薬剤、ブラシ)
② 3 ウェイシリンジにて口腔内洗浄。うがい。
③ 歯肉保護剤歯肉添付、光照射硬化。　(保護剤、照射器)
④ 表面麻酔付きワッテにて上下口唇保護。　(表面麻酔、ワッテ)
⑤ 漂白剤(茶+透明)作製。ブラシ、充填器にて漂白剤塗布。　(漂白剤、ダッペングラス)
⑥ これから 1 h かけて歯牙の漂白をします。(Kr に告げる。)
⑦ サランラップにてカバー　(サランラップ)
⑧ 光照射器にて光照射(20 分おき)、バキューム吸引随時。　(チップ先の細いもの、排唾管)
⑨ 苦しくないか？疼痛ないか？頭痛はしないか？随時お聞きする。　(血圧計、脈拍計など)
⑩ もし、気分が悪いなど有りましたら、チェアーを起こして続ける
かどうかをお聞きして対応策を練る。
⑪ 1 h 終了。口腔内より全て取り去ります。

(7) 着色除去 2 種類薬剤をブラシにて磨きこむ　(薬剤 2 種、ブラシ、カップ)
(8) ポリリン酸うがい(ポリリン酸+グリセリン入り)30 秒　(紙コップ内)
(9) 歯牙色(シェード)測定。　(シェード測定器)
(10) 口腔内写真撮影。　(カメラ)

(11) 院長が、ホワイトニングの結果報告をする。
漂白後、どの様に過ごすか？効果を長持ちさせるためには、
どうすればいいのか。3～6 か月おきに漂白すると効果が長持ちしやすいなど。
※歯肉が、白くなっていたらワセリン+表面麻酔塗布で 5 分間待つこと。　(ワセリン+表面麻酔)
※歯肉に冷水、温水痛など有る場合はアフタゾロン塗布。抗生物質、　(アフタゾロン、抗生物質)
鎮痛剤、含嗽剤、処方すること有り。　(鎮痛剤、含嗽剤)
※Kr.症状によりもう一度来院していただくこと有り。
(12) 漂白効果が、より長く続くように歯磨き剤のプレゼントをします。【5 回目安】　(プレゼント用歯磨き剤)